令和５年度　平川小学校　鹿児島定着度調査分析

1　各教科通過率の比較（県，本校）

	国語	社会	算数	理科
県	68.5	65.3	74.6	75.4
本校	64.9	68.8	71	76.1
比較	-3.6	3.5	-3.6	0.7

（参考：令和６年２月５日現在の県速報値(単位：%)）

2　各教科「知識・技能」「思考・判断・表現」の通過率

	国語	社会	算数	理科
知識・技能	78.6	66.3	73.0	76.0
思考・判断・表現	55.5	73.8	68.4	76.2

3　各教科領域ごとの通過率

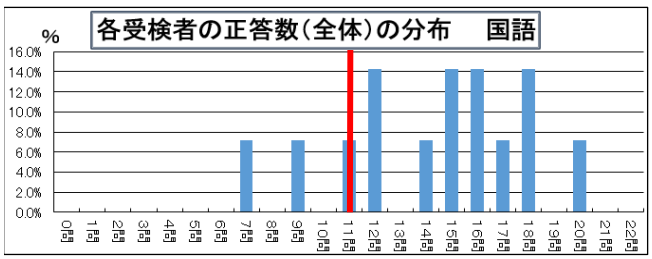
国語	通過率
話すこと・聞くこと	52.4
書くこと	44.0
読むこと	75.0
知識・技能	78.6

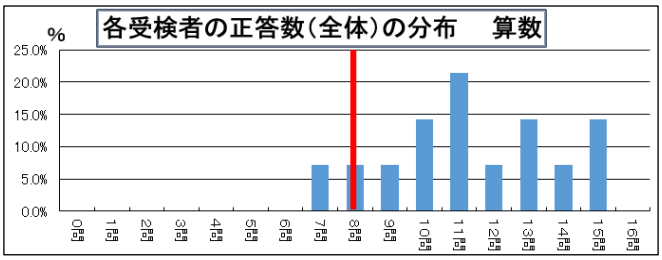
社会	通過率
地形・気候	77.8
農業	45.2
水産業	62.5
工業	78.6
貿易	82.1

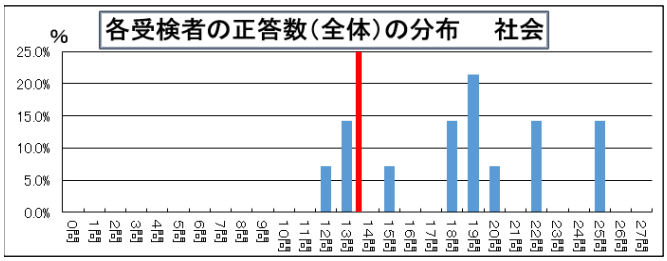
算数	通過率
数と計算	62.5
図形	55.4
測定・変化と関係	87.5
データの活用	78.6

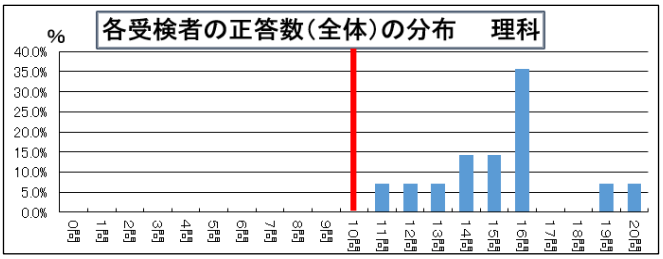
理科	通過率
物質・エネルギー	65.0
生命・地球	87.1

4　各教科の受験者正答数分布グラフ









5　分析・考察

（1）１より，社会と理科が県平均を上回り，国語と算数が県平均を下回る。

（2）２より，観点別にみると，国語の「知識・技能」（55.9％）と「思考・判断・表現」（79.3％）の差が顕著である。

（3）３より，教科領域別に誤答が多い小問の出題意図は，以下のとおりである。※（）は通過率

【国語】

「話すこと・聞くこと」（53.3％）

- ●　目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりしながら、伝え合う内容を検討することができるか。（28.6％）

「書くこと」（43.3％）

- ●　文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことができるか。（０％）
- ●　資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるか。（7.1％）

【社会】

「農業」（46.7％）

- ●　土地利用の様子を読み取ることができるか。（28.6％）
- ●　地形の様子を読み取り，八方位を正しく理解しているか。（28.6％）
- ●　資料から正しい情報を読み取ることができるか。（35.7％）
- ●　米の消費量の増大に向けた，国や市の取組の理由について説明することができるか。(35.7％)

「水産業」（65.0％）

- ●　資料から正しい情報を読み取ることができるか。都道府県を正しく理解できているか。（50.0％）
- ●　栽培漁業について正しく理解できているか。（50.0％）

【算数】

「図形」（58.3％）

- ●　四角形の対角線の性質を正しく理解しているか。（42.9％）
- ●　図形の性質や構成要素に着目し，他の図形を構成することができるか。（57.1％）
- ●　示された図形の面積の求め方を解釈し，その求め方を判断・説明することができるか。(57.1％)

「数と計算」（63.3％）

- ●　示された小数の除法の求め方について，整数に直した除法の商が何を表しているかを判断することができるか。（21.4％）
- ●　商が１より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で，場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し，計算をすることができるか。（57.1％）

【理科】

「物質・エネルギー」（67.3％）

- ●　電気を通す物と磁石に引き付けられる物について理解しているか。（21.4％）
- ●　水を冷やしたときの水の様子と温度変化との関係について理解しているか。（42.9％）

（4）各教科の受験者正答数分布グラフより，国語，社会の分布が，算数，理科に比べ広がりがあることが分かる。

6　今後に向けての取組

（1）全体

- ・　朝の学力向上タイム，土曜授業での学力向上の時間を設定し，web問題を活用して，該当学年で学習するものを身に付けられるように取り組む。
- ・　定着の低い単元においては，教育課程に示し，重点的な指導ができるように年度当初の研修の時間に共通理解する。
- ・　家庭学習の時間（【学年×１０＋２０】分）を確保させ，デジタルドリル（Navima）を活用したり，自分なりの学習の仕方を身に付けたりできるようにし，学習の質を向上させる。

（2）国語

- ・　書く問題については，3つの条件全てに合うように文を書くことができていなかった。条件に合った文の書き方が身に付くように，授業の中で「文字数」「書出し」「つなぎ言葉」を指定したり，日記指導を活用したりして定着を図る。
- ・　文章の要点をまとめたり，要約したりする活動において，他者との比較・検討をし，自分の考えとしてもつことができるように話し合いの場の設定をする。

（3）社会

- ・　「農業」「水産業」ともに，知識・技能に関する問題の定着が低いことから，地図記号や方位，都道府県や主な都市名，関係する言葉について定着するまで繰り返し小テスト等に取り組む。

（4）算数

- ・　図形の学習においては，具体物を準備し，操作活動をとおして理解が深められるようにする。
- ・　計算問題については，何を求めるための式なのか，立式をするときの意味まで考えて式を立てるようにする。（○×□だけでなく△＝○×□というように，三角の部分を意識させる。）

（5）理科

- ・　物の性質について実験を通して理解するとともに，表や図にまとめられるように取り扱う。